

豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター 第19回シンポジウム

「電池が支える地域社会の未来のかたち」

日時：2015年12月3日（木）13:30～16:20

会場：豊橋技術科学大学 A-101講義室

主催：豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター

後援：豊橋市、田原市、豊橋商工会議所、田原市商工会、東三河産業創出協議会

協賛：電気化学会電池技術委員会、電気化学会東海支部、電気学会東海支部、
IEEE名古屋支部、自動車技術会

本シンポジウムでは、車載用・定置用それぞれの用途に合わせて設計された高性能二次電池の開発・応用状況、二次電池に蓄えられた電力を家庭・町で有効活用する仕組み、それらを地域社会で組み合わせてスマートコミュニティを形成する取り組み事例について、これらの分野の第一線でご活躍中の方々にご講演頂きました。

このシンポジウムに138名（学外35名、学内103名）の参加があり、講演後の質疑応答においても参加者からたくさんの質問が寄せられました。

【講演1】

「車載用および定置用蓄電システム向けチタン酸リチウム負極系リチウムイオン電池の実用化と展望」

東芝（株） 研究開発センター 首席技監 高見 則雄 氏

【講演2】

「積水化学が進めるV2Hおよび家庭・町のエネルギーマネジメント」

積水化学工業 R&Dセンター 開発推進センター EMSグループ 参事 梅岡 尚 氏

【講演3】

「豊田市が進める低炭素社会づくりーミライのフツーを目指そうー」

豊田市 企画政策部 環境モデル都市推進課 主幹 酒井 斉 氏



全体の様子



講演1の様子



講演2の様子



講演3の様子